

各位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所  
代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵  
(コード番号 6112)  
問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司  
(TEL 027-343-1511)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年1月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,000	2	10	5	0.50
今回修正予想(B)	1,800	△60	△50	△60	△6.00
増減額(B-A)	△200	△62	△60	△65	
増減率(%)	△10.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年11月期)	2,032	△38	△18	200	20.07

#### 修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節の変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては一部工事進行基準を適用いたしておりますが、当116期通期における売上高につきましては、前期以前の受注残の消化が順調に推移しましたが、第2四半期以降低調な受注展開状況が続き、売上総額では前回予想数値20億円を下回る18億円の見込みであります。

利益面につきましては、生産管理の強化を始め経費全般に亘り節減に努めている結果、相応の効果は見られているものの、上記の見込み売上額では、固定費を吸収しうる段階までには至らず、遺憾ながら表記の各損失金額となる見込みであります。

個別受注生産方式である当社の課題は、受注確保に取組むことが最重要課題であります。

受注環境につきましては、一定の引き合いはあるものの、景況感の悪化から、国内外の顧客において発注サイクルの長期化状況が続いており、更には、同業者間競争が激しいことから勢い価格競争に発展する事例が多く、想定通りの営業展開が困難な状態が続いている現況下にあります。

受注の見込み状況につきましては、受注高は前期18億52百万円を下回る15億円ですが、受注残高は前期末 11億47百万円から同水準の11億円を見込んでおります。

厳しい受注環境が続いておりますが、現在、交渉中である鍛造業界向けの大型案件を始め、引き合いが浮上している中型案件の成約に向け努力し、一層の受注増加を目指し、翌期の売上増加・業績の回復に全力を挙げているところでございます。

※上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上